

福岡市議会史 第1巻 明治編 [目次]

第一章 福岡市会の発足	1
1. 市制施行	1
2. 第一回市会	7
3. 執行機関の編成	14
4. 市費と学区費	22
5. 名誉職	35
第二章 市制施行前の自治組織	41
1. 福博併合と民会組織	41
2. 福岡区会の発足	46
3. 区会と町村聯合会	51
4. 聯合町村会への改組	72
5. 復活後の区会	87
第三章 協議費から市税へ	97
1. 協議費	97
2. 戸別割	106
3. 市税の変遷	116
第四章 選挙制度と議員定数	139
1. 区会時代	139
2. 聯合町村会時代	142
3. 市制施行後	143
4. 議員定数の変遷	151
第五章 議事堂	162
1. 区会時代	162
2. 市制施行後	178
第六章 議事規則、慣例等の変遷	183
1. 区会時代の規則と慣例	183
2. 議事細則の改正	190
3. 市会議事細則と慣例	199
4. 議事細則の改正	219
第七章 市名変更問題の顛末	229
1. 突然の建議	229
2. 審議経過	230
第八章 初期市政とその背景	251
1. 民力休養	251
2. 市立商業学校の廃止	260
3. 区長制度の廃止	262
4. 市吏員の俸給引下げ	267
5. 博多灯台の買入れ拒否	276
6. 号砲費補助	278
7. 両公園引受け問題	282
8. 手数料条例	289
9. 消防組の改組	296
10. 海外への関心	307
11. 財源難	312
第九章 市行政調査	320
1. 市行政取調委員の設置	320
2. 取調委員の報告	321
3. 学区併合問題	328
4. 戸数割等級原率の地価修正	343
5. 福博両港の改築調査	347
第十章 発案権	356
1. 掃除定則の改正	356
2. 市会議決の執行停止	359
3. 発案権の有無	365
4. 知事の訓令	370
第十一章 日清戦争と市会	373
1. 緊急市会	373
2. 市民救護事務委員の設置	378
3. 出征軍人家族の扶助と軍人優待	384
4. 築港計画挫折	389

第十二章 市長候補者弾劾事件	399
1. 連袂辞職	399
2. 公民大集会	408
3. 弾劾運動	413
4. 公民派の圧勝	424
5. 第三候補者	429
第十三章 伸長期の市勢と市政	432
1. 財政規模の拡大	432
2. 埋立ブーム	478
3. 博多川の水面埋立	494
4. 女学校と商業学校	500
5. 大学誘致	511
6. 貯金支局の誘致	521
第十四章 福博築港	527
1. 民設移行の経緯	527
2. 築港会社の発足	543
3. 違反工事と責任問題	554
4. 築港事業の引継ぎ	563
5. 国港指定請願	581
第十五章 日露戦争と市会	588
1. 財政難	588
2. 学区廃止	597
3. 予算の変更	615
4. 兵事	626
第十六章 博釜定期航路	635
1. 博多港と韓国貿易	635
2. 命令航路の開設	638
3. 航路補助の条件	648
4. 補助の長期化	666
第十七章 福岡市一級議員の再選挙	670
1. 訴願事件の概要	670
2. 裁決案の審議	673
3. 訴願内容の変更	686
4. 市会の裁決	692
第十八章 市政調査委員会	704
1. 市政調査委員の設置	704
2. 商工業の実態調査	710
3. 市区拡張に関する調査	713
4. 電気鉄道に関する調査	714
5. 上水道に関する調査	715
6. 市区改正に関する調査	716
第十九章 幹線道路と市街電車	720
1. 幹線道路の新設と県道拡張	720
2. 市営電車出願と出願権の譲渡	732
3. 福博電気軌道の開通	744
4. 博多電気軌道の開業	760
第二十章 水道計画	763
1. 水道布設計画出願	763
2. 申請却下と再出願	784
3. 設計・予算の変更	786
第二十一章 政党対立の兆し	791
1. 市長候補者選挙	791
2. 市長選挙無効の決議	796
3. 無効決議無効の決議	802
4. 第二候補者選挙の取消しと失格決議の取消し	807
資料 一. 市制(明治二十一年法律第一号)	819
二. 市制(明治四十四年法律第六十八号)	845
三. 名簿	881
1. 歴代議長および議長代理者(副議長)	881
2. 市会議員	893
3. 歴代市長	895
4. 名誉職参事会員	895
四 福岡市会年表	900